



現場責任者の松田さまが証言

ココに満足!



いいね!

オペレーター目線で考えられた
運転席まわりの配置を評価

ステアリングハンドルとレバーの配置が理想的で、正しい姿勢を保ちながら操作ができ、非常にラクに作業ができています。やむをえず急ブレーキをかけた時も、大型のウエストパッドがしっかり体をホールドしてくれるため安心感がありますし、オペレーターの負担を大きく軽減してくれるリーチフォークリフトだと実感しています。



作業現場の環境にフィットした
低全高タイプのプラッターにより、作業効率向上・
オペレーターの負担改善に貢献!

長年三菱ロジスネクストのバッテリーフォークリフトを使用されており、今回、車両の更新で「PLATTER」の新規導入を担当された榎谷課長、森主任、現場責任者の松田さまにお話を伺いました。

バッテリーフォークリフト「PLATTER」

DESIGN 3

印刷物の保管・管理、発送まで
ワンストップで行う物流センター



真生印刷株式会社
真生ロジスティクスさま

所在地 大阪府堺市堺区三宝町6-315

真生印刷(株)の物流センターとして設立され、2022年、30周年を迎えた。真生印刷の第1・第2工場から搬送されてくる印刷物を最大60,000種類まで保管可能。自動立体倉庫への「入庫」、お客さまの注文に応じての「出庫」、印刷物の仕分けや検品、梱包、アッセンブリ作業、出荷までを担う。全国に向け1日の出庫数はおよそ500件。EDI(電子データ交換)などのオンライン受発注管理システムにより、正確で効率的な作業を実践し、また不足するアイテムの情報を把握、工場と連携し迅速に増版対応できる総合的な生産管理体制を確立している。



担当 ロジスネクスト近畿株式会社
大阪西支社 堺支店 営業課 課長代理

石井 鉄吾



は乗り心地、使用感が格段によくなっていますね。たとえばエレベーターをまたぐときなど衝撃をほとんど感じません。また小回り性能の高いこと、屋外でもオートサスペンションシステムによって勾配や凸凹があっても安定を保てるのが、オペレーターの作業や精神的な負担軽減につながっています。

右足のかかとはみだし走行を防いでくれるペダル式ブレイクスイッチなど安全性も十分考慮されていますが、この上さらに万全を期すためには、オペレーターの意識や技量を高めることが重要であることはいうまでもありません。そこで先日、三菱ロジスネクストさんの担当者を招いて、当社本社にて安全講習会を開きました。安全について再認識するためにも今後定期的に行えればと思っていますのでよろしくをお願いします。

長きに渡って三菱ロジスネクストさんは当社にとって本当に良きパートナーです。

真生ロジスティクスは昨年、設立から30年を迎えました。実は真生印刷でいえば三菱ロジスネクストさんとの付き合いはそれ以上で、私たちが知る限り40年を超えています。現在のバッテリーフォークリフトは2021年に導入したもので、全社で9台、このうち真生ロジスティクスでは2台が活躍。私たちが使っているのは、全高およそ2mの低全高タイプ、大容量バッテリー仕様です。具体的には、印刷工場から搬送されてくる印刷物をトラックから降ろし自動立体倉庫へ入庫、そして、お客さまの注文に合わせて出庫、発送という一連の作業でプラッターを使用しています。特に、倉庫への出入庫時や、ピッキングを行う階上へ運ぶために利用するエレベーターなど高さ制限のある場所での荷役時に、低全高タイプのプラッターは最適であると感じています。さらに、今のプラッター

スムーズな走行で
オペレーターの負担が大きく軽減

課長 榎谷 敏夫さま
主任 SDGsプロジェクトメンバー 森 陽一朗さま
現場責任者 まつだ たくや 松田 卓也さま

